鹿児島大学教育学部代用附属　鹿児島市立伊敷中学校　学校だより（令和４年度 第６号）

# 常盤の翠

志・寛・錬

発行
令和4年9月1日
鹿児島市立伊敷中学校

## 創意と工夫でバージョンアップの二学期に

校長　河瀬　雅之

夜になると虫の音が賑やかになり、秋が近づいていることを感じさせます。さて、今日から二学期、大きな事故等もなく、この日を迎えられたことを、まずは喜びたいと思います。

二学期は、実りの学期、体育大会、修学旅行、文化祭など生徒が楽しみにしている行事が目白押しです。

昨年はこの時期、緊急事態宣言が出され、分散登校や体育大会の中止など本校も大きな影響を受けました。今年も厳しい状況は続いていますが、**創意工夫でコロナの危険を上手に回避しながら、沢山の思い出をつくる学期に**していきたいと思います。

人生で大切な中学時代の実りの学期を有意義に過ごすため、生徒**一人一人のバージョンアップを期待しています。**今の自分をどうバージョンアップさせるのか。そのためには**ゴールイメージを描くことが大切**です。言い換えれば目標を持つということ。二学期は、それぞれが、それぞれの目標を立て、前に進んでいることを実感する学期にして欲しいと思います。目標とは、○○高校に合格するという漠然としたものではなく、そのためには何を成し遂げるのかといった**具体化した目標の方がよい**でしょう。**できれば、目標達成までの時間を決めるとさらによい**と思います。

始業式では、生徒に二学期の目標を持ってもらうため「ウサギはなぜカメに負けたのか」という話をしましたので紹介します。

「皆さんは『ウサギとカメ』の童話を知っていますよね。『もしもしかめよ』で始まる童謡にもなっている有名なお話です。そのあらすじは、『ウサギに歩みの鈍さをバカにされたカメは、山のふもとまでかけっこの勝負を挑んだ。かけっこを始めると予想通りウサギはどんどん先へ進んだが途中で居眠りをしたためカメに追い越され負けてしまった。』というものです。このお話には、**どんな状況下であっても油断してはいけない**という戒めの意味があると解されますが、次のような別の解釈もあります。『カメは動きが遅い動物なので、普通に考えれば、どんな相手にもかけっこで勝てるはずはない。つまりカメにとって相手はウサギでもイヌでも何でもよかった。その証拠にこの話のカメは、物語の中で一度も相手を見ていない。カメは旗の立っている頂上、つまり人生の目標だけを見つめて歩き続けたのだ。一方のうさぎはどうだろう、絶えずカメのことばかり気にして、大切な人生の目標を一度も考えることはなかった。**人生の目標は、他者との競争、比較ではないはずである。周りの人がどうだとかは気にせず、自分の目標を持ち、賢いカメになって歩き続けなさい。**』そんな解釈をしてみると面白いと思いませんか。」

出校日の日には、応援団の結団式を実施しました。団長らは昨年の先輩の無念を胸に、精一杯の演舞を作り上げようと抱負を述べ、安全に十分気をつけながら、体育大会を成功させる気持ちを確認しました。

これからは気候も良くなり集中力も高まる時期。**それぞれの目標を掲げ、バージョンアップの二学期を目指しましょう。**

## 全国大会お疲れ様でした！

八月二十四日（水）、福島県で、柔道競技の全国大会が実施されました。本校からは、三年生の福﨑夢さんが個人戦に出場しました。結果はベスト十六でした。福﨑さんは、「満足のいく結果ではありませんでしたが、三年間の集大成が出せたと思います。応援ありがとうございました。」と話してくれました。全国大会に出場し、ベストを尽くした福﨑さんの姿は、伊敷中にとっての誇りです。本当にお疲れ様でした。

## リーダー研修会

学びの夏。スキルアップの夏。夏休みはレベルアップのチャンスです。伊敷中では毎年、この研修会を通して、リーダーの育成を図っています。今年は二十名ほどの生徒が参加しました。生徒会長の田代さんは、「先頭で引っ張るリーダーや集団と一緒に頑張るリーダーなどいろいろな形があるので、これが自分の理想のリーダー像というのを見つけてほしいです。」参加者の白坂さんは、「これまで、自分の意見を言うばかりだったが、今後は、相手の話を聞いた上で、意見を言うようにしたいです。」と話していました。今回学んだことを二学期に生かしていきましょう。

お互いの違いを認め合い切磋琢磨する学級

## ＰＴＡ役員と語る会

ＰＴＡ会長の米山さんの「生徒のために何かできることはないか」という思いから、ＰＴＡ役員と生徒会が語る会が初めて実現しました。意見を交わすことで、伊敷中の現状や今後について考えを深めることができました。中でも、「あいさつ」については、単に「あいさつをした、しなかった」で終わるのではなく、「相手に心が伝わるあいさつ」を目指すことで、社会に出たときに生きるあいさつにつながるということが確認できました。学校全体で「あいさつ」に対する意識を高め、学校生活をより良くしていきたいです。

## 応援団始動

第七十六回体育大会に向けて、結団式が行われ、本格的に応援団の練習がスタートしました。夏休み中は午前中を利用して、各団が工夫をしながら練習に励んでいました。特に昨年度の体育大会が中止となったため、三年生の気合いの入り方が違います。各団の団長さんに話を聞いたところ、赤団団長の馬場口さんは「昨年度実施できなかった分、今までの先輩方の思いをつないで、最高の体育大会を目指したいです。」白団団長の羽山さんは「体育大会を成功させられるように日々練習を頑張っています。白団は、チームの仲が良いので、チーム一丸となってこれからも頑張りたいです。」と話してくれました。二学期が始まるとすぐに体育大会に向けての練習が始まります。体育大会はチーム伊敷がまとまる絶好の機会です。思い出に残る最高の体育大会を目指しましょう。

## 教育実習生と過ごす三週間

伊敷中学校の大きな特色の一つである、教育実習が九月六日（火）から始まります。今年度は、三十五人の実習生が三週間の実習に臨みます。事前のオリエンテーションでは、どの実習生も真剣に担当の先生の話を聞き、実習に生かそうという熱意が伝わってきました。また、コロナ禍での実習のため、安全面に対する意識も高まりました。年齢も近く、将来の目標に向かって頑張る姿は、生徒の皆さんにとっても大きな刺激になると思います。三週間という短い期間ですが、多くの実習生と触れ合い、お互いの成長につながっていく姿を期待しています。

## 主な行事予定

１日　２学期始業式
２日　三校合同あいさつ運動
　　　夏休み明け課題テスト（１・２年生）
　　　第１回共通実力テスト（３年生）
６日　教育実習スタート
１０日　土曜授業
１３日　生徒会立会演説
１４日　体育大会予行
１８日　第７６回体育大会
２１日　教育実習終了

## お知らせ

- １学期末同様、体育大会までは、体育服での登校となります。また、登校時の校門についても学年で異なります。
- ５日から体育大会練習が始まります。熱中症予防のために帽子と水筒を確実に持ってきてください。また、こまめな水分補給をしましょう。